

「恋愛・同性友人関係についてのアンケート調査」お礼と結果報告

このたびは、私のアンケート調査にご協力いただき、大変ありがとうございました。

本調査の目的は、**関係効力性** (私と相手はよい関係を築いていける) が幸福感を高めるかどうかを明らかにすることでした。なお本調査では、幸福感は**快楽的幸福感** (私は自分の人生に満足している) と**達成的幸福感** (私は人間として成長している) の二つに分けられています。

今回は、これら三つの心理尺度の分析結果について、簡単にご報告させていただきます。

I. 回答者の基礎データ

恋愛カップル 103 組 (交際期間 12.87 ヶ月±12.21)

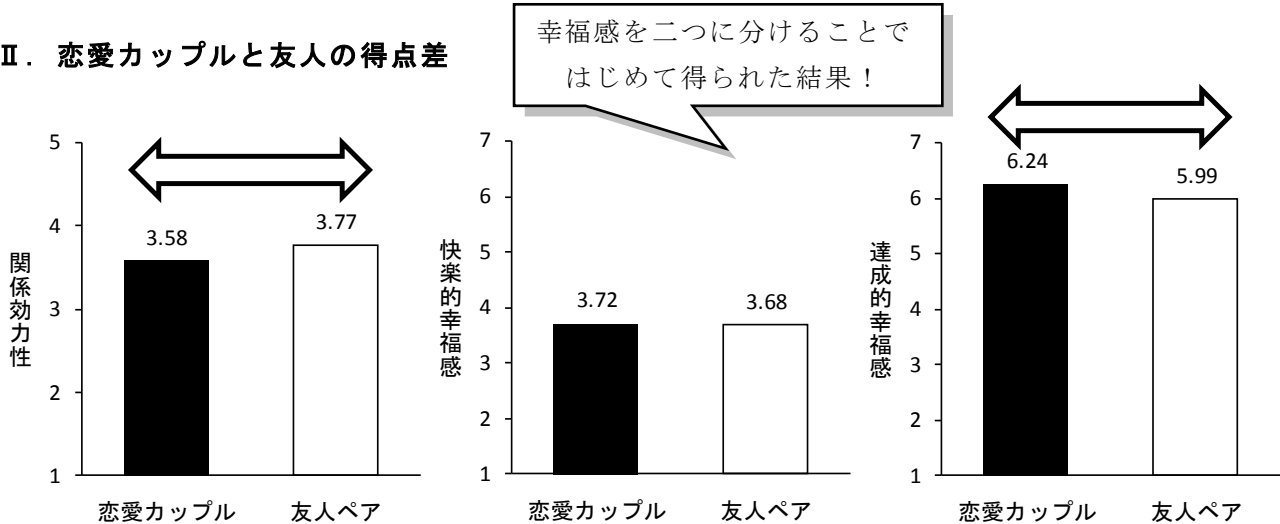
男性 (平均 20.80 歳±2.52)、女性 (平均 19.56 歳±1.04)

友人ペア 114 組 (関係継続期間 56.64 ヶ月±56.37)

男性 25 組 (平均 19.54 歳±0.79)、女性ペア 89 組 (平均 19.61 歳±1.05)

お互いが「とても親しい友人」と分類しているペアのみ

II. 恋愛カップルと友人の得点差



幸福感を二つに分けることで初めて得られた結果!

注) \longleftrightarrow : 心理学的 (統計的) に意味のある得点差

図1 恋愛カップルと友人ペアの得点

III. 恋愛カップル・友人ペアにおける関係効力性の類似度

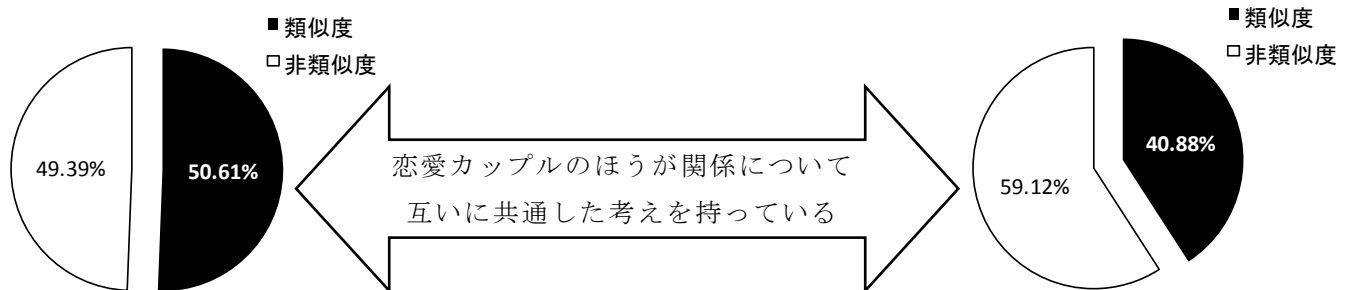


図2 恋愛カップル (左) と友人ペア (右) の関係効力性の類似度

IV. 最後に...

これらを踏まえ、今後さらに心理学的な (たとえば、関係効力性が幸福感を高めるという因果関係を仮定した) 分析を行います。その結果は、国内外の科学雑誌や学会にて発表いたします。